



平成29年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月9日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
 コード番号 3418 URL http://www.balnibarbi.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 裕久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 岡本 弘嗣 TEL 06 (4390) 6544
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第1四半期の連結業績（平成28年8月1日～平成28年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第1四半期	2,417	19.8	132	△10.4	134	△12.0	87	△10.9
28年7月期第1四半期	2,017	—	148	—	152	—	98	—

(注) 包括利益 29年7月期第1四半期 87百万円 (△10.9%) 28年7月期第1四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第1四半期	21.11	20.12
28年7月期第1四半期	26.80	25.37

- (注) 1. 平成27年7月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を開示していないため、平成28年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成27年10月28日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成28年7月期第1四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、新規上場日から平成28年7月期第1四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
 3. 当社は、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第1四半期	5,446	1,939	35.6	465.13
28年7月期	5,288	1,881	35.6	453.59

(参考) 自己資本 29年7月期第1四半期 1,939百万円 28年7月期 1,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年7月期の連結業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,800	20.9	330	37.9	330	35.9	200	29.9	48.20
通期	10,200	20.5	790	36.6	800	35.8	470	31.8	113.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期1Q	4,169,800株	28年7月期	4,149,000株
② 期末自己株式数	29年7月期1Q	一株	28年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期1Q	4,149,496株	28年7月期1Q	3,666,717株

(注) 当社は、平成28年2月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和策を背景として、企業収益や雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調が見られた反面、中国経済の減速や英国のEU離脱問題などの影響による為替相場や株式市場の不安定化などにより、消費者マインドが低迷し個人消費は伸びを欠く状況にあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、高付加価値業態を中心として、インバウンド効果、法人交際費の増加傾向により、回復傾向が見られてはおりますが、競合企業との競争激化、原材料価格の高騰、人手不足に伴う人材確保難や人件費上昇など、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループでは関東エリア、関西エリアだけではなく、福岡、名古屋、滋賀などのエリアへの店舗展開及び多様な新規出店プロジェクトの企画開発を推進する一方で、平成28年8月に複合型もしくは開発型の店舗運営を行うことを目的とした店舗運営子会社を設立し、今後の出店の大型化、複合化に伴う事業規模拡大を支える運営体制を強化しております。

当第1四半期連結累計期間における店舗の増減といたしましては、レストラン事業において2店舗をオープン、期間限定店舗1店舗をクローズしております。結果、当第1四半期連結会計期間末現在における当社グループの運営する店舗数は72店舗となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,417,543千円（前年同四半期比19.8%増）となりましたが、利益については8月以降発生した台風などの悪天候によるテラス席の稼働状況の悪化、平成28年10月に滋賀県大津市にオープンした「ザ カレンダー」の出店費用の影響などにより、営業利益132,609千円（前年同四半期比10.4%減）、経常利益134,517千円（前年同四半期比12.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益87,593千円（前年同四半期比10.9%減）となっております。

事業別の業績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

レストラン事業におきましては、平成28年9月に東京都新宿区「新宿ガーデン」にて「クッチーナカフェオリーヴァ」をオープンし、平成28年10月には「大津駅リニューアルプロジェクト」におけるキーテナントとして、レストラン、カフェ、バー、バーベキューテラス、簡易宿泊施設を統合した複合施設「ザ カレンダー」並びに大津駅観光案内所「オーツリー」を同時オープンいたしました。

店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かいレストラン運営に取り組む一方で、新規店舗における顧客満足度と収益性を向上させる店舗運営方法の確立、ビアガーデンやバーベキュー、こたつテラスなど季節に応じた店舗運営、営業企画・イベントの立案などの取り組みを実施しております。

また、当社独自の組織制度である店舗運営子会社につきましては、平成28年8月に複合型もしくは開発型の店舗運営を担う株式会社バルニバービオーガストを設立したことで、店舗運営子会社は10社となり、今後の事業規模拡大における店舗運営体制をより強化しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、関東地区29店舗、関西地区20店舗、その他地域3店舗の計52店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,154,880千円（前年同四半期比22.2%増）となりました。

② スイーツ事業

スイーツ事業におきましては、季節商品やコラボ商品などの商品開発を推進する一方で、ヒット商品及び新規出店がなかったことにより、当第1四半期連結累計期間における売上高は132,827千円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるスイーツ事業の店舗数は、関東地区10店舗、関西地区4店舗の計14店舗となりました。

③ アスリート食堂事業

アスリート食堂事業におきましては、アスリートだけではなく健康志向の顧客へのターゲット層の拡大及びオペレーションの効率改善によるコストダウンによる収益性改善を進めております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるアスリート食堂事業の店舗数は、関東地区4店舗、関西地区1店舗、その他地域1店舗の計6店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は113,158千円（前年同四半期比3.0%増）となりました。

④ その他の事業

その他の事業におきましては、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第1四半期連結累計期間における売上高は16,677千円(前年同四半期比103.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、157,342千円増加し5,446,030千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、187,851千円減少し1,597,655千円となりました。これは主に現金及び預金の減少152,611千円によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、345,193千円増加し3,848,375千円となりました。これは主に新規出店による建物及び構築物の増加117,779千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して、99,798千円増加し3,506,550千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、51,379千円減少し1,633,379千円となりました。これは主に未払金の減少54,670千円、未払法人税等の減少47,945千円、1年内返済予定の長期借入金の増加71,172千円によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、151,178千円増加し1,873,170千円となりました。これは主に長期借入金の増加141,549千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、57,543千円増加し1,939,480千円となりました。これは主に利益剰余金の増加46,103千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年9月13日の「平成28年7月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当
第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,254,833	1,102,221
売掛金	258,445	208,736
商品及び製品	77,138	79,254
原材料及び貯蔵品	30,470	33,369
繰延税金資産	26,788	36,885
その他	137,830	137,187
流動資産合計	1,785,507	1,597,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,469,225	1,587,005
機械装置及び運搬具(純額)	25,072	22,553
工具、器具及び備品(純額)	270,419	298,772
土地	768,684	768,684
リース資産(純額)	293,913	302,758
建設仮勘定	75,264	12,008
有形固定資産合計	2,902,581	2,991,782
無形固定資産		
のれん	3,195	2,796
リース資産	181	63
その他	57,112	255,999
無形固定資産合計	60,488	258,858
投資その他の資産		
差入保証金	381,287	401,270
繰延税金資産	61,594	79,217
その他	97,228	117,246
投資その他の資産合計	540,111	597,734
固定資産合計	3,503,181	3,848,375
資産合計	5,288,688	5,446,030

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,479	236,295
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	442,632	513,804
リース債務	95,525	98,854
未払金	454,206	399,536
未払法人税等	130,243	82,298
未払消費税等	114,677	69,847
賞与引当金	4,022	16,659
資産除去債務	1,425	—
その他	125,546	166,083
流動負債合計	1,684,759	1,633,379
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	1,272,084	1,413,633
リース債務	225,978	231,456
資産除去債務	165,720	189,270
その他	38,209	38,810
固定負債合計	1,721,991	1,873,170
負債合計	3,406,751	3,506,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	392,250	397,970
資本剰余金	443,666	449,386
利益剰余金	1,046,021	1,092,124
株主資本合計	1,881,937	1,939,480
純資産合計	1,881,937	1,939,480
負債純資産合計	5,288,688	5,446,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
売上高	2,017,361	2,417,543
売上原価	570,836	694,635
売上総利益	1,446,525	1,722,907
販売費及び一般管理費	1,298,513	1,590,298
営業利益	148,012	132,609
営業外収益		
受取利息	109	8
受取保険金	17,718	—
消費税差額	5,025	7,071
その他	915	2,396
営業外収益合計	23,768	9,476
営業外費用		
支払利息	4,646	4,798
株式交付費	4,932	—
株式公開費用	7,213	—
その他	2,054	2,770
営業外費用合計	18,846	7,568
経常利益	152,934	134,517
税金等調整前四半期純利益	152,934	134,517
法人税、住民税及び事業税	47,239	74,643
法人税等調整額	7,423	△27,719
法人税等合計	54,662	46,923
四半期純利益	98,271	87,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,271	87,593

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	98,271	87,593
四半期包括利益	98,271	87,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,271	87,593

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、飲食店運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。